

学習院大学 身体表象文化学専攻主催／文学会共催

ガブリエル・リシャール氏による レクチャー・コンサート

CONCERT LECTURE / J. S. Bach et H. BIBER / Gabriel Richard, violon

ヨハン・セバスティアン・バッハの作品に おける時間性と非時間性

*Temporalité et intemporalité dans l'oeuvre de
Jean-Sébastien Bach*

本レクチャー・コンサートでは、パリ管弦楽団のヴァイオリン奏者であるガブリエル・リシャール氏をお招きし、ヨハン・セバスティアン・バッハ作曲「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ」をめぐり、ヴァイオリン演奏を交えてお話しいたします。

ガブリエル・リシャール (Gabriel Richard)

パリ管弦楽団 (Orchestre de Paris) ヴァイオリン奏者。リヨン国立高等音楽院をヴァイオリンで首席卒業後、ジルベール・アミに師事し室内楽と現代音楽のワークショップに参加。ギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団を経て、現職。

〈通訳〉 神本 真理

作曲家。2007年、パリ国立高等音楽院 (CNSMDP) 作曲科、アナリーゼ科、オーケストレーション科を修了。現在、東京芸術大学、国立音楽大学、桐朋学園大学、各非常勤講師。

2018年12月20日(木)
午後6時30分～

会場: 西 5-301

言語: フランス語 (通訳付き)

入場無料

予約不要